

(1) 目的別歳出

目的別経費の構成割合をみると、民生費69億525万9千円（構成比39.8%）が最も大きく、次いで土木費 26億7,995万円（同15.5%）、衛生費24億9,072万2千円（同14.4%）の順となった。

また、総務費、商工費、衛生費などが前年度に比べて減となった一方、民生費、災害復旧費などが増となった。

総務費は、44億9,141万3千円（71.6%）の減で、新型コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金事業費の皆減などが要因となった。

民生費は、11億4,467万6千円（19.9%）の増で、新型コロナウイルス感染症対策として実施した子育て世帯や住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の給付などが要因となった。

災害復旧事業費は、令和3年7月豪雨に伴う農林施設及び公共土木施設の災害復旧に要した事業費 1億9,130万6千円の皆増となった。

一般会計歳出決算状況（目的別）

（単位：千円・%）

款 別	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)－(B)の内訳		令和2年度 決算額(C)	増減額 (B)－(C)	(B)の 構成比
			翌年度繰越額	不用額			
1 議会費	125,588	120,820		4,768	172,192	△51,372	0.7
2 総務費	1,884,932	1,785,573	4,400	94,959	6,276,986	△4,491,413	10.3
3 民生費	7,192,083	6,905,259	84,626	202,198	5,760,583	1,144,676	39.8
4 衛生費	2,580,199	2,490,722		89,477	2,810,834	△320,112	14.4
5 労働費	42,727	39,620		3,107	37,275	2,345	0.2
6 農林水産業費	125,925	115,490		10,435	110,698	4,792	0.7
7 商工費	166,991	133,505		33,486	528,981	△415,476	0.8
8 土木費	2,770,535	2,679,950	11,000	79,585	2,735,638	△55,688	15.5
9 消防費	608,910	603,397		5,513	629,992	△26,595	3.5
10 教育費	1,947,351	1,859,292	14,850	73,209	2,076,770	△217,478	10.7
11 災害復旧費	300,040	191,306	89,980	18,754	0	191,306	1.1
12 公債費	357,000	355,791		1,209	343,267	12,524	2.0
13 諸支出金	56,403	56,402		1	54,513	1,889	0.3
14 予備費	15,598	0		15,598	0	0	-
計	18,174,282	17,337,128	204,856	632,298	21,537,729	△4,200,601	100.0